託された未来をひらく
三井住友トラストグループ

2026 年 11 月 19 日

各 位

三井住友信託銀行株式会社

航空機リースファンド「Oris Aviation Fund LP」の共同設立について

三井住友信託銀行株式会社（取締役社長：米山　学明、以下「当社」）は、オリックス株式会社(代表執行役社長：髙橋　英丈、以下「オリックス」)の連結子会社で航空機リース事業を手掛ける ORIX Aviation Systems Limited(Chief Executive Officer：James Meyler、以下「ORIX Aviation」)と共同で特定の機体を投資対象とする航空機リースファンド（※1）「Oris Aviation Fund LP」（以下「本ファンド」）を組成し、出資に関する契約を締結しましたのでお知らせします。

本ファンドは、航空会社にリース中の燃費性能や環境性能などを向上させた新型航空機を投資対象とし、資産規模は約 600 億円（約 380 百万米国ドル）（※2）です。投資家（LP）（※3）には、当社と ORIX Aviation に加え、株式会社 SBI 新生銀行（代表取締役社長：川島　克哉）など国内金融機関が参画します。本ファンドの意思決定は、ファンド運用会社（GP）（※3）である「Oris Aviation Fund GP」（以下「本 GP」）が行います。

当社は ORIX Aviation と共同で本 GP に出資するとともに、LP 投資家の募集、LP 投資家向けのレポーティング業務などを担い、ORIX Aviation は本 GP への投資助言や、本 GP の意思決定に基づき本ファンドが保有する航空機の管理、再リース、売却などのアセットマネジメント業務を担います。

本ファンドを通じて国内投資家へ航空機リースマーケットへの投資機会を提供するとともに、当社の持つファンド組成機能および投資家ネットワークと、オリックスが事業を通じて積み上げた知見を相互に生かし、今後も国内外の投資家向けにさまざまな投資機会を提供すべく、協業を検討していきます。

当社は、社会課題の解決や社会価値の創出に直結するリアルアセット領域（※4）を中心に、当社の投融資の知見・目利き力を生かし、持続可能な社会の実現に資する投融資機会の創出に注力しています。

【本ファンドの概要】

名称	Oris Aviation Fund LP
設立地	ケイマン諸島
投資対象	特定の航空機
ファンド規模	約 600 億円（約 380 百万米国ドル）
ファンド期間	2026 年より 7 年間(予定)

（※1） 組成時に投資対象となる資産を特定し、原則として運用期間中に新たな投資対象の追加を行わないファンド

（※2） 円換算額は、1 米国ドル＝159.49 円で算出しています（2026 年 11 月 17 日現在）

（※3）ファンドの運営および意思決定は、運用会社である GP（General Partner：無限責任組合員）が担う。
LP 投資家（Limited Partner：有限責任組合員）は出資額の範囲で責任を負い、運営には関与しない。

（※4）エネルギー、不動産、船舶、航空機等の社会・産業インフラを対象とする投融資領域

以 上